

令和8年度第1回_川越市障害者施策審議会 会議録

開催年月日	令和8年5月29日（金） 14時30分～16時30分
開催場所	川越駅西口 U_PLACE 3階 会議室
出席委員	高橋会長、増田副会長、氣仙委員、小川委員、大野一美委員、大畠委員、大野操委員、檜村委員、山田委員、野沢委員、長谷部委員、岡村委員、峯岸委員、栗林委員、飛松委員、柳井委員
事務局	福祉部 富田部長 障害者福祉課 岡安課長、木村副課長、渡邊副主幹、田中主査、細村主査、小野寺主任 こども未来部療育支援課 川上課長
欠席委員	大塚委員、大西委員、古野委員
傍聴人	1名
報告	(1) 障害者支援計画の進捗状況調査結果について (2) 事業所アンケート調査の結果について
議題	次期障害者支援計画について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 川越市障害者施策審議会委員名簿 ・ 資料1 障害者支援計画（R6-R8）進捗状況調査結果 ・ 資料2 障害福祉に関するアンケート調査（事業所・職員向け）結果の概要 ・ 資料3 次期障害者支援計画（案）の概要について ・ 資料4 成果指標の見直しについて ・ 資料5 重点施策の見直しについて ・ 資料6 次期障害者支援計画の骨子（案）について

審議結果概要	<p>次期障害者支援計画については、今回委員から出された以下の主な意見を踏まえ、次回の審議会では素案をお示しする。</p> <p>【報告（１）】</p> <ul style="list-style-type: none">・「79_グループホームの充実」について、特に重度の方にしっかりと焦点を当てて調査をする必要があると考える。実態に合った活動指標にしていただきたい。・「90_日常生活用具費支給事業の推進」について、障害者福祉課から新しい商品の情報提供をいただきたい。 <p>【報告（２）】</p> <ul style="list-style-type: none">・事務手続きや書類作成の方が負担という回答が多い。 事務手続きを合理化することで、負担感はかなり変わるのではないかと思うので、ぜひ進めていただきたい。・事業所の負担軽減も大事だと思うが、従業員の待遇も大事だと思う。他の業種とデータを比較するなどして考えていかなくてはいけないと感じる。 <p>【議題】</p> <ul style="list-style-type: none">・重点施策について、重度障害者の方の暮らしの場がどうなるのかが気になる。障害の重い人たちの生活全面を見られる暮らしの場が必要である。 また、療育関係の支援も進めていただきたい。
---------------	--

議事内容	
発言者	議題・発言内容
部長	【部長挨拶】
事務局	【開会】
事務局	【新委員の委嘱について】
会長	【会長挨拶】
事務局	【会議の成立確認】 【資料確認】
会長	【会議公開の承認】※傍聴者あり
事務局	【報告（１）障害者支援計画の進捗状況調査結果について】 資料１に基づき説明
会長	報告（１）について事務局より説明をいただいた。質問等あるか。
委員	31 ページ 精神障害者地域生活支援広域調整会議等事業の内容と目的を教えてください。
事務局	こちらは県の事業である。市の事業としては、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業または構築支援事業が該当するが、前回計画策定時には協議の場も設置されていない状況であったため、古い事業が残っている。 次期計画ではこの事業を削除し、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業または構築支援事業を盛り込む見込みである。
委員	12 ページ「51_保育所、幼稚園等への訪問支援の充実」について目標値に対して訪問支援件数の実績が低いと評価であると考えますが、毎年実績値が20件や30件であるのに、目標値の60件という数値はどのように算出しているのか。 また、そもそも人手が足りない、児童発達支援センターの負担が過重である等、目標値を大きく下回っている理由があればご教示願いたい。
事務局	公立の保育園20箇所だけでなく、民間保育施設にも支援を広げ、60の施設に訪問支援を行うという考えから目標値60件としていた。 目標値を下回っている理由として、この事業は施設からの要請に基づいて行うものだが、要請自体が少なくなっているという現状や、

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	数字上見てとれないが、委員のご意見のように人員不足により対応できていない部分もあるのではと考えている。
委員	15ページ「68_就労支援の事業の充実」について 活動指標の新規就労者数とあるが、新規というのはどのような基準か。障害者総合相談支援センターに相談した時点で就労につながっていないが以前働いていた場合は新規となるのか。
事務局	障害者総合相談支援センターに相談した時点で就労につながっていない方が、新たに就労に繋がった場合を新規として計上している。
委員	17ページ「79_グループホームの充実」について 枝番2の活動指標が医療連携加算等算定事業ということだが、重度の方の暮らしの場の不足は本当に深刻となっている。 この指標も大事だが、実際にどのような支援が必要とされているのかを調べてほしい。そうでなければ、実効性のある計画として先に進まないのではないか。
事務局	より実効性のある計画にするため、皆様と協議を進めたい。
委員	17ページ「79_グループホームの充実」について 枝番1、2ともa評価になっているが、活動指標によって評価も変わってくる。 枝番1の活動指標は定員数である。 定員数は確かに増えているためa評価となるが、定員数という活動指標では実態が見えてこないのではないか。 障害区分4から6も対応できるとしている事業所でも実際に受け入れの相談をしてみると受け入れ可能な方は障害区分5までという事例がある。 このようなことから、障害区分で分けないと、実態把握は困難であるとする。 例えば、枝番1、2、3、4と分けて、枝番1の活動指標でグループホーム全体、枝番2の活動指標は区分4～5の方、枝番3の活動指標は区分6の方、枝番4の活動指標は医療連携体制加算等算定事業所くらい分けるのはどうか。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>特に区分6の方が暮らしの場がなくて困っているなので、重度の方にしっかりと焦点を当てて調査をする必要があると考える。また、実態に合った活動指標にしていきたい。</p> <p>また、川越市の現状についても伺いたい。</p> <p>30ページの障害福祉サービス等の実績値と見比べてみると、17ページにある定員数は令和6年の515人、令和7年は556人と増えているが、実績値で見ると令和6年が374人で、令和7年は418人であり実際には8割くらいの入居率となっている。</p> <p>さらに精神障害者を対象としたグループホームの実績値で見ると、これが令和6年は122人、令和7年が151人になっている。現状はどのようなものかと考えるか。</p>
事務局	<p>まず本市の現状について回答する。</p> <p>令和7年度にグループホームに入居している方のうち川越市援護の方の人数や区分4以上の重度障害者の方や強度行動障害の方、医療的ケアを受けている方の人数等を把握する詳細な調査を行っている。</p> <p>その結果、川越市のグループホームの約半分を市外の方が利用している状況や、区分4以上の重度障害者は定員数515人に対し279名であること、また必ずしも重度に区分されないが、利用者のうち109名が強度行動障害の判定を受けている方であること、医療的ケアを受けている利用者は1名であることを把握している。</p> <p>活動指標について、定員数だけを活動指標としても実態は把握できないというのはご指摘のとおりであると考えます。</p> <p>毎年詳細な実態調査を行うとともに、区分6で実際にグループホームが利用できている方がどの程度いるのか等、活動指標の変更、見直しをしていく。</p>
委員	<p>18ページ「90_日常生活用具費支給事業の推進」について私もこの事業で日常生活用具を購入しているが、いろいろな商品が新しく出てきている。</p> <p>今は商品の情報を入手するために、日本点字図書館に通って教わっている。</p> <p>ぜひ障害者福祉課から新しい商品の情報提供をいただきたい。</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>また、体温計を例に挙げるが、通常の体温計は1,000円ぐらいで買える。それが視覚障害者用の音声体温計だと、10倍20倍の値段になる。1割負担で買えるということは非常にありがたいが、その中でも限度額があり、音声体温計だと9,000円ぐらいは自己負担になる。もう少し金銭的な負担も下げただけであれば、ありがたい。</p>
事務局	<p>日常生活支援用具の品目は川越市で決めている。様々な調査を行いながら随時品目等を見直している。</p> <p>新しい商品も、障害のある方に寄与するような商品で一般的に普及するようであれば、日常生活用具の見直しや追加を行い、対象の方に周知していく。</p>
委員	<p>29ページ 障害福祉サービス等の見込量と実績値について 重度訪問介護と重度障害者包括支援で、実績値と見込量の差がマイナスになっている。</p> <p>重度訪問介護の時間数が令和7年度の比較だと1,376時間も差が出ている。</p> <p>この差はヘルパー不足がとても深刻で、サービス提供したいが、ヘルパー不足からそれがかなわないという理解でよろしいか。</p> <p>また、重度障害者等包括支援については、ニーズがないという理解でよろしいか。</p>
事務局	<p>まず、重度訪問介護について回答する。</p> <p>表にある1,376時間の差は、人数が21から20人に1名減っていることが原因である。川越市は2人介護を認めており、重度訪問介護は利用者1人当たりかなり大きな数字となるため、このような差が出ている。また、重度訪問介護事業所が廃止してしまい、人が足りないという事実もある。</p> <p>次に重度障害者等包括支援は、現在利用希望が無く、また川越市に事業所がないことから、このような数字となっている。</p>
委員	<p>ヘルパー不足でヘルパーを頼みたくても頼めないという事例を聞いているため、その実態を不安な気持ちを含めて知っていただきたい。</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	川越市や近隣市町でヘルパーが見つからず都内から来てもらっているという事例も聞いている。 担当の方でしっかり情報を把握させていただく。
委員	障害福祉サービス等の見込量と実績値について生活介護事業所が一定数増えてきている。 令和6年比較は人日分プラス157だったが、令和7年比較はマイナス186となっている。 この差について教えていただきたい。 また就労継続支援B型が令和6年、令和7年ともにプラスになっている。これは事業所数が増えているからという理解でよいか。
事務局	生活介護について、平成30年4月時点では事業者数が16、定員数は576であった。その後コロナ禍を経て、令和8年の3月時点では事業所数が33、定員数が957と、かなり事業所を選べる状態になっている。 目標値については過去の数字を参考に設定しているため、その年度によっては利用が多く、目標値を超えてしまうこともあると考えている。 次に就労継続支援B型について同じく平成30年と令和8年の比較を申し上げる。 平成30年4月の事業所数が16、定員は314人であったが、令和8年3月の事業者数は41、定員が808人であった。 こちらも事業所がかなり増えている状況であり、事業所が多いと利用する方も増えてくる。 今までの目標値よりも多くの利用者があったため、見込量も多く設定したが、それを超えた実績値になっていると考えている。
委員	3ページ事業評価一覧「88_緊急一時保護の推進」について大変大切な事業だが、評価が完了または廃止となっている。 理由について、お伺いしたい。
事務局	こちらの事業はコロナ禍に事業を中止していた。 昨年調査を行い、生活サポートや日中一時支援など民間の代替事業者が充実していることや、他の利用者からの再開要望がほとんどないことから令和7年2月に事業廃止とした。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	また、事業評価一覧の緊急一時保護は総合福祉センターで行っていた事業を指しているものであり、社会福祉法人皆の郷に委託している地域生活支援拠点や民間のサービスはあるため、市全体で緊急一時保護の受け皿がなくなったわけではない。
会長	続いて、報告事項2について、事務局より説明いただく。
事務局	【報告 (2) 事業所アンケート調査の結果について】 資料2に基づき説明
会長	報告(2)について事務局より説明をいただいた。質問等あるか。
委員	利用者への支援が負担という回答が多いかと考えていたが、実際は事務手続きや書類作成の方が負担という回答が多く驚いた。 事務手続きを合理化することで、事業所の負担感はかなり変わるのではないかと思うので、ぜひ進めていただきたい。
事務局	市としても、事務の合理化が進められれば、事業所の負担が少なくなると考えている。 今年から障害者の施設を対象に、ICT機器の導入や介護ロボットの導入等の補助金を開始している。 そちらを活用いただき、事務手続きの合理化を進めていただきたいと考えている。
委員	記録や行政の手続きについて、簡素化できるところはないかと日頃から考えているので、検討が進むことはありがたい。 一方で、負担が大きいと回答している割合が多い監査については、しっかり実施しなければならないと感じる。ニュースをみると利用者の食事を減らした事業所や、就労移行だと半年ごとに就労させ、半年ごとに事業所に戻す事業所など、制度の隙を利用するような話を聞く。 また、事業所は虐待や身体拘束についての研修やカスハラやパワハラ等の研修、第三者委員会の設置、感染についての学習等指定基準に基づき行わなければならない研修等に加え、加算に影響してくる研修等を実施している。 利用者の直接支援や事務手続きのほかにも、このような部分で障害

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	者施設が忙しいと感じているのではないか。
事務局	虐待や身体拘束に係る研修の実施だけでなく、災害情報システムへの登録や情報公表等、事業所の事務が大幅に増えていることは市も認識している。 また、例に挙げていただいた利用者の食事を減らしたグループホームのような事例以降は、地域連携推進会議の開催が義務になるなど、令和に入ってから事業所負担が増えていることも承知している。 市としても、簡略化できる部分や負担が減らせる部分があれば負担の軽減に努めていく。
委員	事業所の負担軽減も大事だと思うが、従業員の待遇も大事だと思う。 人を募集しても来ない、ヘルパー事業所が減っているというのも、従業員の待遇が要因の一つではないか。 障害福祉サービスの収入は全事業の平均収入より7万円くらい安いという話も聞く。 待遇に関しても他の業種とデータを比較するなどして考えていかななくてはいけないと感じる。
委員	特に負担が大きい業務として、見守りコミュニケーション支援が挙げられている。 事業所はどの部分で大変と感じているのか。 事務作業が多く、利用者に注力する時間がないから大変だと感じているのか、それともほかに大変と感じる部分があるのか。 その点を明らかにしないと、実態の改善に繋がらないのでは。
事務局	自由記述から読みとれる部分から申し上げると、多く見られたのが精神障害の方に対するコミュニケーションや強度行動障害の方の対応が難しいという理由がみられる。
会長	事業所から選出されている委員の意見も伺いたい。
委員	すごく興味深い調査だと感じる。 移乗介護や入浴支援は効率化が進めば負担は減るかもしれないが、例えば自分で体幹を安定させられない人を移乗させるときな

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>ど工夫もいるが、それ以上に職員が腰を壊してしまうなどの大変な部分や心配があるので、負担と回答する方が多くなると想像していた。</p> <p>しかし、実際は見守りコミュニケーションの方が負担と感じている方が多かった。</p>
委員	<p>1 ページ サービスの拡充縮小の意向について</p> <p>共同生活援助の拡充の意向の回答数が13と非常に多いが、先ほどの進捗状況調査結果から考えると、この13のうち重度障害者に対応できるグループホームの拡充意向があるのかという問題があると思う。</p> <p>内訳についてご教示願いたい。</p>
事務局	<p>拡充の内訳について、重度の方を対象にするかは質問を設定していなかったため、分かりかねる。</p> <p>しかし、市の方には、株式会社が土地や建物を持っているため、資産運用的な側面でグループホームを開設したいというような相談が多く寄せられている。</p> <p>そのことを踏まえると重度というよりは軽度の方に対するグループホームを拡充する意向が多いのではと推測する。</p>
委員	<p>見守りコミュニケーションが負担を感じるという話が出たので、事業所の現状を報告する。</p> <p>アンケート結果が現場の現状にとっても近いもので、他の事業所も同じように感じているのだと思った。</p> <p>弊社は精神障害の方のために立ち上げたということもあり、精神障害の利用者の方が多く半数以上を占めている。</p> <p>統合失調症をお持ちの方や、精神疾患を持つ方も多い。</p> <p>他にも発達障害、知的障害、身体障害、難病も受け入れはしているが1番に多い利用者は精神疾患の方である。</p> <p>そのため、5ページの業務内容にある移乗介護や移動支援、入浴支援や機能訓練支援については、現在利用している方はいない。</p> <p>一方で、見守りコミュニケーション支援は職員が一番エネルギーを使う部分である。</p> <p>常にではないがコミュニケーションの中で、職員自体がセクハラを受ける、異性問題が発生する等は女性男性問わずある。職員自身も</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>コミュニケーション力の向上や相手のペースに飲み込まれないようにする方法だけでなく、この発言の背景には何かあるのかを考えて対応するようにしている。</p> <p>職員としても、発言の背景まで理解した上で方針を立てるというのが結構労力を使う部分でもあり、利用者の言動により自分の女性性や男性性を搾取されたようなストレスを感じる時もある。</p> <p>もちろん精神疾患を持ちながら生きていくとは何か、障害を持ちながら生きてくとは何かということを理解するということの専門性の向上も大事だが、対人職である以上、感情をぶつけられる部分はある。</p> <p>そのような場面に直面したとき自分を回復させていくことが、職員の専門性の部分であり腕の見せ所ではあるが、感情をぶつけられる場面が多いと感じた。</p>
委員	事業所アンケートと併用して、職員にも職員向けの調査を行ったということか。
事務局	事業所アンケートと併せて、職員用アンケートのweb 回答フォームの二次元コードを掲載した文書を送付し、職員に配布していただくことで調査を行った。
会長	続いて、議題について事務局より説明いただく。
事務局	【議題 次期障害者支援計画について】 資料3～6に基づき説明
会長	議題について事務局より説明をいただいた。質問等あるか。
委員	<p>資料4 基本目標3「3重度障害者の市内グループホーム利用者数」について</p> <p>川越市援護の方で、市外のグループホームを利用している方もいると思うが、その方は含めないのか。</p>
事務局	市外のグループホーム利用者は含めない。
委員	資料5 重点施策について

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>アンケートでニーズの高いところを重点施策としてことは承知している。しかし、注目したいのは暮らしの場の充実である。重度障害者の方の暮らしの場がどうなるのかが気になる。障害の重い人たちの生活全面を見られる暮らしの場が必要である。</p> <p>グループホームで受け入れが進めばいいが、それが進まないのであれば、方法論として入所施設の活用も考えられる。</p> <p>もちろん施設の中に利用者を閉じ込めるのではなく、働く場があるという前提がいる。</p> <p>また、療育関係の支援も進めていただきたい。</p>
会長	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>まず、事務局より示された計画のスケジュールは、事務局案のとおりとする。</p> <p>2つ目、成果指標の見直しについては、委員の意見を踏まえての対応していただきたい。</p> <p>3つ目、重点施策の見直しについても、委員の意見を踏まえて、対応できるものがあれば、対応いただきたい。</p> <p>最後に、骨子（案）については、具体的な内容がわかり次第お示しいただきたい。また、本日の意見を踏まえ次回の審議会で計画の素案を示していただくようお願いしたい。</p> <p>委員の皆様よろしいか。</p>
委員	異議なし
会長	<p>【その他】</p> <p>その他、委員からの報告事項はあるか。</p>
	特になし
会長	事務局から何かあるか。
事務局	<p>・次回会議の日程について</p> <p>次回の会議は令和8年7月31日（金）10時から開催予定。</p> <p>正式な案内は追って通知する。</p>
会長	委員から質問等あるか。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
委員	特になし
事務局	【閉会】 以上で、令和8年度第1回障害者施策審議会を終了する。
	以上